

第6学年 社会科学学習指導案

1 小单元名 「明治維新から世界のなかの日本へ ～人々の願いと明治政府の国づくり～」

2 指導観

○ 子ども研究から見えたもの

子どもたちは、6年生になって初めて歴史について学習をしている。学習を始める前の子どもたちは、「歴史の勉強は覚えることがいっぱいあるから、覚えられるか心配。」と話していたが、学習を進めるうちに、覚えることよりも、歴史の中で生きた人々の様子を考えることが、歴史の勉強なんだと、社会科に対する考え方やイメージが変わってきた。

1学期は、絵などの資料や年表などから、これまで学習してきた時代との共通点や相違点から疑問に感じたことを元に学習問題をつくり、予想を交流させ、これから学習していく時代は、どのような時代だったのか、時代の中心となった人物は誰なのか、人々の生活の様子はどうだったのか、調べる視点を明確にしてから、調べ学習に取り組ませてきた。調べる方法としては、教科書や資料集を主に活用し、キーワードとなる言葉に、どんどん赤線を引かせ、ノートにまとめるようにさせた。また、年表に出てくる人物に着目させ、どんな人物なのか、何をした人物なのかを、教科書や資料集から調べて、人物ファイルにまとめるようにさせた。

このことから、子どもたちには、課題を解決するために、教科書や資料集などを活用して、自ら意欲的に取り組む姿が見られた。しかし、根拠となる事実を見つけても、自分の予想と結びつけて考えたりまとめたりすることができず、憶測で語ったり、事実と自分の意見が区別できなくなっていることがある。そのため、自分の考えに自信がもてないようで、積極的に発表するまでには至っていない。また、ノートの整理の仕方など、基本的な学習の技能は、まだ十分に身に付いているとはいえない実態も見られた。

○ 教材の価値・意義

内容(1)

我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること。

大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かる。

「廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かる」とは、明治政府が行った廃藩置県や四民平等などの諸改革によって、近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整い、欧米の文化を取り入れて我が国の近代化を進めたことが分かるようにすることである。

また、明治中・後期から大正期における、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などの歴史的な事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、我が国の国力が充

実し国際的地位が向上したことが分かるようにすることをねらいとしている。

「大日本帝国憲法の発布」について調べるとは、例えば、国会の開設に備えて政党をつくった板垣退助や大隈重信、憲法制定に重要な役割を果たした伊藤博文の働きなどを取り上げて調べ、明治政府が発足後20年ほどで憲法を制定し、立憲政治を確立したことが分かるようにすることである。

これらの学習を通して、我が国の国力が充実し、近代的な国家へと発展していったことが分かるようにする。

本単元は、明治政府の働きを通して、国内の政治の仕組みを整えた上で、対等な立場での外交を目指し、国際的地位の向上が図られたことを理解することがねらいである。

当時の日本は、国内の政治の体制を確立させ、アジア諸国に勢力を伸ばす欧米諸国の植民地にならないこと、さらに、江戸幕府によって結ばれた不平等な条約を改正することが、大きな課題であった。明治政府は、これらの課題を解決するために、取り組んでいったのである。

日本が、欧米諸国に負けないためには、国が一つにまとまらなければならない。そのために、明治政府は、天皇を中心とした国づくりを目指し、天皇が大きな力を持った欽定憲法の制定が必要であると考えた。そこで、ヨーロッパでの視察の結果、皇帝の力が強いドイツの憲法を学び、1889年に大日本帝国憲法を発布することができた。そして、国会開設がされ、アジア初の立憲国家となった。また、「版籍奉還」では、土地と平民は、天皇のものであるとし、「四民平等」「解放令」などを出し、身分のきまりを廃止した。

さらに、国民一人ひとりの資質を高めなければならないと考え、富国強兵のスローガンのもと、教育を受けさせるための「学校制度」、強い軍隊を作るための「徴兵令」などを出した。そして、政府は、殖産興業を進め、生糸を海外に輸出して利益を得たり、「地租改正」を行って収入の安定を図るなどして、国内の経済力を高めていった。このようにして、日本は、鎖国によって欧米諸国に後れをとっていたが、欧米諸国に認められる近代的な国家として成長していったのである。

以上のように、明治政府の行った政策は、国内の政治体制の確立と日本の植民地化を未然に防ぐことができた。よって、明治政府の行った政策を取り上げれば、日本の国力が充実し、国際的地位が向上したことをとらえることができると考えた。

○ 指導にあたって

(つかむ段階)

学習問題づくりでは、江戸時代と明治時代の生活の様子が分かる資料を提示し、明治時代になって、どのように世の中が変化していったかを、視覚的にとらえさせる。そして、幕末には、人々の考えがバラバラになっていたこと、外国との力の差をまざまざと見せつけられていたことを結び付けて、人々はどのような願いを持っていたのか、それに対して、明治政府は、どのような政策をしていったのかについて考えさせ、学習問題へとしていく。予想を持った後は、それぞれの予想を出し合い、何を調べれば、自分の予想に対する答えを見つけることができるか明確にさせておく。

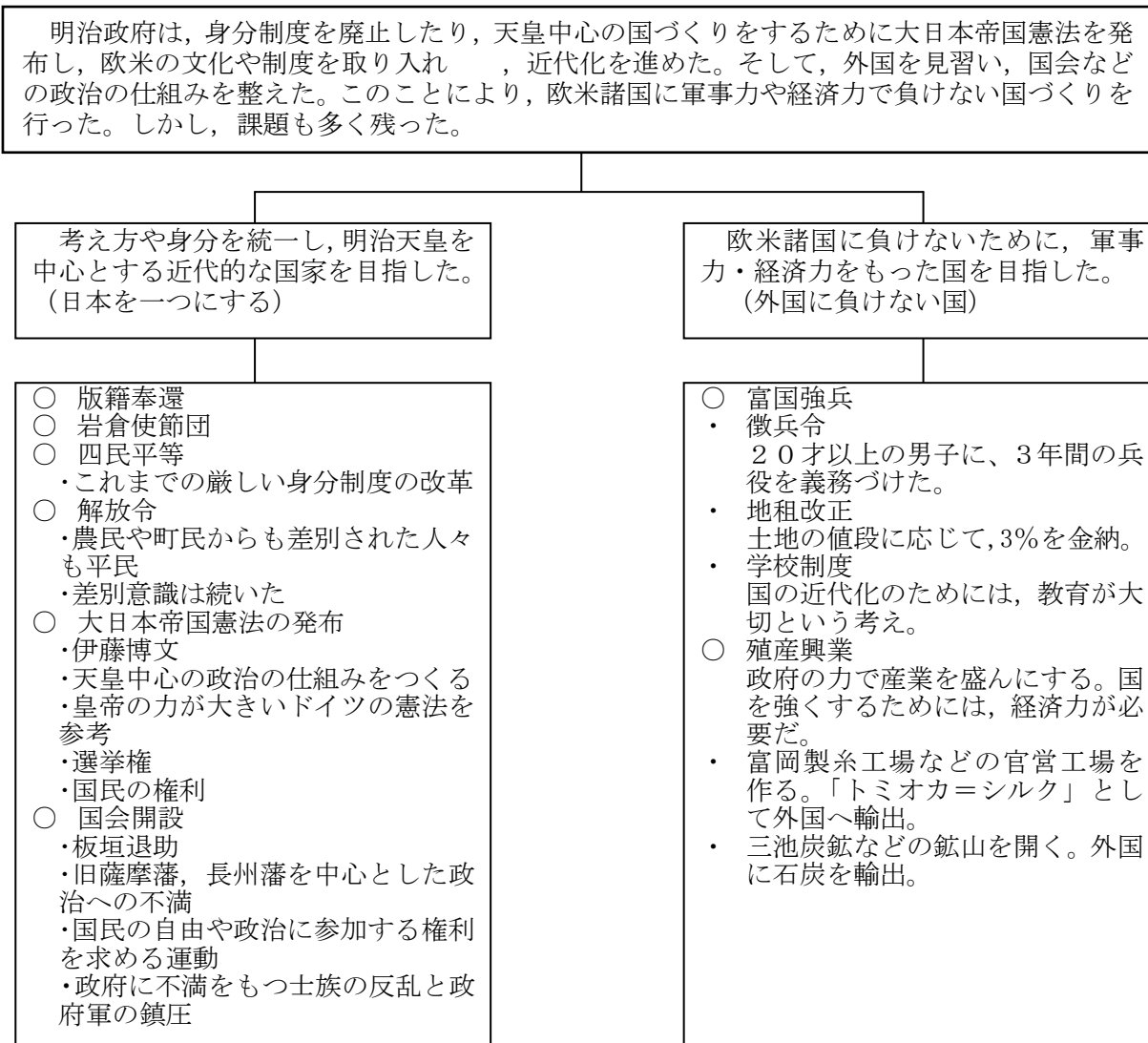
(さぐる段階)

調べる活動では、人々の願いである「日本を一つにまとめる」「外国に負けない国」のそれぞれの視点から、明治政府の政策について調べ、自分の考えと根拠となる事実をノートにまとめさせる。そのために、プリント等を活用し、ノートのまとめ方を指導しておく。

(まとめる段階)

中間交流では、同じ視点で調べた子ども同士で交流をし、調べた内容について、足りないところや分かりづらいところを明確にし、さらに調べ、自分の考えをより確かなものにさせておく。全体交流では、それぞれの視点でまとめたことを発表させ、明治政府の政策は、人々の願いと結びついていたかについて交流をさせ、それぞれの政策のつながりについて考えさせていくようにする。

3 単元構成図



4 小単元の目標

- 明治政府の政策が、人々の願いとどのように結びついていたか関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究することができる。【関心・意欲・態度】
- 日本の近代化の進展やそれに伴う政治・社会の仕組みの変化などについて問題意識をもち、学習の見通しをもって追究・解決している。【思考・判断】
- 日本の近代化の進展や近代化に努めた人々の働きなどについて、資料や年表などを活用して、具体的に調べている。【観察・技能・表現】
- 日本の近代化が進められた過程やそれに伴う政治や社会の仕組みの変化、産業の発達と外国との関係の変化などをとらえることができる。【知識・理解】

5 指導計画 (全7時間)

学習過程	時数	主な学習内容	支援 (○) と資料 (□)	評価基準
つかむ	2	<p>1 絵などの資料や年表から、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 江戸時代と明治時代の様子を比べて変化を知り、その後の世の中の様子やそこで活躍した人物について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提灯→ランプや電気 ・ かご→鉄道, 人力車や馬車 ・ 飛脚→郵便 ・ 寺子屋→学校 ・ 学校制度や徴兵令などは、何のために出されたのだろう。 ・ 人々は、どんな願いをもっていたのだろう。 ・ 争いのない, 安定した暮らし ・ 外国の威力に負けない ・ これらの人物は、どんなことをしたのだろう。(明治天皇・大久保利通・木戸孝允・伊藤博文・板垣退助) 	<p>○ 江戸時代と明治時代の生活の変化が分かる資料を提示する。</p> <p>明治時代の年表</p> <p>江戸と明治の様子</p> <p>五箇条の御誓文</p> <p>○ 人々は、江戸幕府にどのような不満をもっていたのかについて想起させ、次の時代に、どんな世の中を願っていたのかを考えさせる。</p> <p>○ 欧米の文化などを取り入れたことで生活のスタイルが変わったこと、諸外国と条約を結んだりしたが、対等な立場ではなかったことに気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から、これから学習する時代について、興味・関心をもつことができる。 ・ 幕末を迎えた時の人々の思いを想起し、明治時代への願いと結びつけることができる。 ・ 幕末に、外国の力の大きさを見せつけられ、不平等な条約を結んでいたことを想起できる。
	①	<p><学習問題></p> <p>明治政府は、人々の願いをかなえる政策をしたのだろうか。</p> <p>(2) 学習問題の予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の願いをかなえる政策をした。 ・ 人々の願いをかなえる政策をしなかった。 	<p>○ 「明治政府は、人々の願いをかなえるために、()をした。」「明治政府は、()をしたが、人々の願いをかなえられなかった。」と予想を立てさせ、視点ごとに振り分け、何について調べれば、自分の予想が正しい 判断できるかを確認させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の願いと結び付けて、明治政府のとった政策を考えることができる。
／さぐる	1	<p>2 学習問題に対する予想をもち、追究の見通しをもつ。</p> <p>(1) 予想について話し合う。</p> <p>(2) 調べる方法と調べる内容を明確にさせ、追究の見通しをもつ。</p> <p>【調べる方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書から ・ 資料集で調べる ・ インターネットで調べる ・ 先生からの資料 <p>【調べる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本が一つにまとまった国 <p>バラバラだったみんなの意見を、どうまとめていったのか。</p>	<p>○ 明治政府が行った政策に印をつけさせ、自分の予想に結びつく政策について調べるようにさせる。</p> <p>○ 視点を明らかにするのに必要な内容を話し合ったり、課題の解決に結びつく資料を選択できるように、印をつけさせたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治政府の行った政策のどれが、自分の予想を確かなものにするのか、考えながら、教科書や資料集から、読み取ろうとしている。

<p>／ ふ か め る</p>	<p>4</p>	<p>・ 外国に負けない国</p> <p>外国に負けないように、どんな政策をしたのか。</p> <p>3 見通しにそって、予想を追究する。</p> <p>② (1) 自分の考えをノートにまとめる。</p> <p>① (2) 小グループでの交流をし、自分の考えを見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4名程度の小グループで、調べたことをもとに、交流する。 ・ 質問・意見交流をし、互いに自分の考えを事実と結びつけた根拠のある考えへとする。 <p>① (3) 視点ごとでの交流をし、自分の考えに付加・修正を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの視点で発表し、それぞれのグループの考えをまとめる。 	<p>○ キーワードとしてまとめられるように、事実の中から欠くことができない言葉を見つけさせる。</p> <p>○ 交流に必要な資料を整理させる。</p> <p>○ 説明が不十分であったところを明らかにし、自分の考えに付加、修正を加えるようにさせる。</p>	<p>・ その政策が、どう学習問題の答えに結びつかをを考えながら、調べ学習をすることができる。</p> <p>・ 調べた政策が、人々の願いにどのように結びついていいるか、考えることができる。</p>
<p>／ ま と め る</p>	<p>1 本 時</p>	<p>4 全体交流をし、学習問題の答えを確かめる。</p> <p>(1) 学習問題の答えについて話し合う。</p> <div data-bbox="351 1198 782 1702" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一つにまとまった国</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天皇を中心にまとまった国を目指した。 ○ 自由民権運動によって、武力ではなく言論の力で解決しようとするようになり、国会が開設された。 ○ 大日本帝国憲法の発布により、アジア初の立憲国家となった。 ○ 大日本 国憲法には、天皇主権や国民の権利、選挙権について書かれた。 △選挙は、限られた人のみ。(100人に1人) ○ 「四民平等」「解放令」が出され、全て平民になった。 △別の形で身分が残った。 △差別は続いた。 </div> <p>(2) 学習問題の答えをまとめる。</p> <div data-bbox="351 1769 1197 1915" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><学習問題の答え> 明治政府は、バラバラになった国を一つにし、外国に負けない国にするために、いろいろな政策を行った。しかし、その中で、苦しい生活を強いられた国民もいた。</p> </div>	<p>○ 明治政府の行った政策は、人々の願いをかなえるものであったか考えながら、話し合うようにさせる。</p> <div data-bbox="790 1198 1197 1702" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>外国に負けない国</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい文化を取り入れ、生活が変わった。 ○ 徴兵令で強い軍隊をもつ。 △20歳から3年間。農村は、働き手をとられる。 ○ 地租改正により、安定した収入を得るようになった。 △国民の負担は大きかった。 ○ 学校制度によって、国民の教育に力を入れた。 △全ての子どもが、学校に行けたわけではない。 ○ 富岡製糸場の の 生糸生産量が世界一になった。 △若い女性が、過酷な労働。 </div>	<p>・ 友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことができる。</p> <p>・ 発表を聞いて、学習問題に対する答えを考え、まとめることができる。</p>

6 本時

平成 22 年 10 月 18 日 (月) 5 校時 於 6 年 2 組教室

7 本時の目標

- 明治政府の政策と人々の願いを関連付けて考えることができる。
- 自分が調べたことを、友達に分かりやすく説明することができる。

8 本時の指導にあたって

本時では、明治政府が、人々の願いをかなえるために、どのような政策を行い、日本を変えていったかについて、自分が調べたことをもとに、友だちと交流し、自分の考えをより確かなものにし、学習問題の答えを見つけていくことをねらいとしている。

本時の前に、学習問題の答えの根拠となる事実を見つけさせ、学習問題の答えをつくらせている。異なる考えの子ども同士で中間交流をし、自分の考えを強化させたり、自分の考えは、確かな根拠となる事実と結びついているか再確認させ、調べた内容が不十分であれば、さらに詳しく情報を収集するようにさせている。

本時では、グループごとに、代表児童が発表をし、異なる 2 つの視点で調べてきたが、自分が調べた明治政府の政策は、人々の願いをかなえるものであったかについて考えながら、友達の発表を聞くようにさせ、学習問題の答えをまとめさせたい。

9 本時の展開

学習活動と内容	留意点 (○) 資料 (□)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 調べたことをもとに発表し、学習問題の答えをまとめよう。</p> </div> <p>2 明治政府の行った政策は、人々の願いをかなえるものであったかについて話し合う。 (1) 視点ごとに、考えを出し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>日本を一つにまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 版籍奉還 ・ 四民平等 ・ 解放令 ・ 学制 ・ 国会開設 ・ 選挙 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>外国に負けない国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩倉使節団 ・ 官営工場の設立 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 150px; height: 100px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徴兵令 ・ 地租改正 ・ 大日本帝国憲法 </div> <p>(2) 他の視点に対して質問や意見を出し、交流を深める。</p> <p>(3) それぞれの考えに、関連していることはないか、発表する。</p>	<p>○ 資料を用いて、根拠を挙げながら、分かりやすく話すようにさせる。</p> <p>○ それぞれのグループがまとめたものを黒板に掲示しておく。提案の際は、自分の考えと根拠となる事実を提示しながら提案させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;">大日本帝国憲法</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;">身分を表したグラフ</div> <p>○ 明治政府の行った政策は、人々の願いをかなえるものであったかについて考えながら、交流をするようにさせる。</p> <p>○ 明治政府の行った政策の中には、願いはかなえられているが、国民にとって、負担になることもあったことに気付くようにさせる。</p>

<p>3 学習問題の答えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><学習問題の答え> 明治政府は、バラバラになった国を一つにし、外国に負けない国にするために、いろいろな政策を行った。しかし、その中で、苦しい生活を強いられた国民もいた。</p> </div> <p>4 「今日の学習で」を書き、次時の予告を聞く。</p>	<p>○ 学習問題に対する答えを、自分の言葉で考えて書くことが出来るようにさせる。</p> <p>○ バラバラだった日本は、まずは、国内の仕組みを整え、国外への取り組みへと結びついていったことなど、順序性に気付くようにさせる。</p>
--	---

10 板書計画

学習問題 明治政府は、人々の願いをかなえる政策をしたのだろうか。

<めあて> 調べたことをもとに発表し、学習問題の答えをまとめよう。

日本を一つにまとめる

外国に負けない国

四民平等で、みんな
平民

身分制度を廃止したが、武士は士族、大名は華族と、別の形で身分は残った。

解放令で平民に

差別は残り、差別をなくす運動をした。

天皇中心の国づくり

板垣退助
広く国民の意見を聞くべし。
自由民権運動。

伊藤博文
大日本帝国憲法を定めた。

徴兵令で強い軍隊

農村は、働き手をとられ、大変だった。

学校制度で教育を受ける。

全ての子どもが、学校に行けなかった。

<学習問題の答え>
 明治政府は、バラバラになった国を一つにし、外国に負けない国にするために、いろいろな政策を行った。しかし、その中で、苦しい生活を強いられた国民もいた。